

# 第 61 回全国国際教育研究大会 宮城大会

「平和とは何か。今だからこそ実践したい国際理解教育とは。」

～曇りなき心の月を先立てて浮世の国際社会を照らしてぞ行く～

## 1 大会趣旨

20世紀に2度の大戦を経て、誰もが恒久平和の実現を望んでいるはずなのに、21世紀になっても主権を巡る争いや経済的な利益の追求で不穏な空気がおさまることがなく、東欧や中東をはじめ世界各地で新たな紛争が勃発し、悲劇は続いている。また、感染症との闘い、地球温暖化への対策も人類に突きつけられた大きな課題であろう。これらの世界情勢や諸課題を前にして私たち教師は、国際理解教育を通じて生徒に対してどのような学習の機会を提供できるのか。また、どのような授業実践や指導が可能なのか。具体的に課題を取り上げてみたい。

本年は、日本でも多くの人々が一瞬にしてその日常を奪われてしまう悲しい大災害でスタートした。同じように13年前に大震災を経験した本県は、苦境から立ち上がるレジリエンスを発信できる県でもあり、2日目午後には仙台市内の震災遺構訪問も用意した。

現代に生き続ける伊達の文化が輝く街、仙台を訪ねていただき、その「粹」を五感で存分に堪能しながら貴重な大会としていただきたい。

2 主催 全国国際教育研究協議会

3 共催 独立行政法人国際協力機構 特定非営利活動法人全国国際教育協会  
東北地区高等学校国際教育研究協議会

4 主管 宮城県高等学校国際教育研究会

5 後援 文部科学省 宮城県 独立行政法人国際交流基金  
一般財団法人日本国際協力センター 公益社団法人青年海外協力協会  
株式会社国際開発ジャーナル社 宮城県高等学校長会 宮城県教育委員会  
青森県教育委員会 岩手県教育委員会 公益財団法人宮城県国際化協会  
独立行政法人国際協力機構東北センター 公益財団法人仙台観光国際協会  
公益社団法人ユネスコ協会 公益財団法人日本教育公務員弘済会宮城支部

6 会期 令和6年8月1日（木）から8月2日（金）まで

7 会場 トークネットホール仙台（仙台市民会館）小ホール  
〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1  
① 仙台市営バス「定禅寺通市役所前経由 交通局東北大学病院前」行き  
（JR仙台駅前60番乗り場より、約15分）「市民会館前」下車すぐ  
② 地下鉄南北線「勾当台公園」駅下車「公園2」出口から、徒歩約10分  
③ 地下鉄東西線「大町西公園」駅下車「西1」出口から、徒歩約10分

8 参加対象 全国国際教育研究協議会加盟校の教職員および生徒  
第61回全国国際教育研究大会宮城大会に出場する生徒・引率者および保護者  
国際教育（開発教育・国際理解教育等）に関心のある教職員・生徒・保護者等  
国際教育（開発教育・国際理解教育等）に関わる関係団体・企業等の担当者等  
国際ボランティア等に関係する教職員・生徒・担当者等

★本行事は令和6年度宮城県中堅教諭等資質向上研修会行事になっています。

## 9 大会参加費用等

### (1) 大会参加登録費 (資料代)

教職員 3,000 円 (弁論大会・生徒研究発表引率者、発表者も含む)  
一般・保護者 1,000 円 高校生 無料 初日弁当 (希望者) 1,200 円 (お茶付)  
震災遺構見学 (希望者) 2,000 円 (弁当代込) ※アレルギー等はお相談ください。

### (2) 教育懇談会費 8,000 円

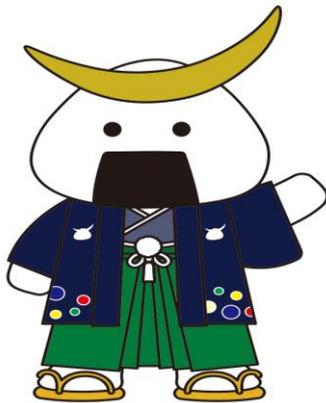
### (3) 申し込み方法

下記QRコードから申込み。下記のQRコードを読み取っていただき、必要項目を入力後に送信ボタンを押してください。

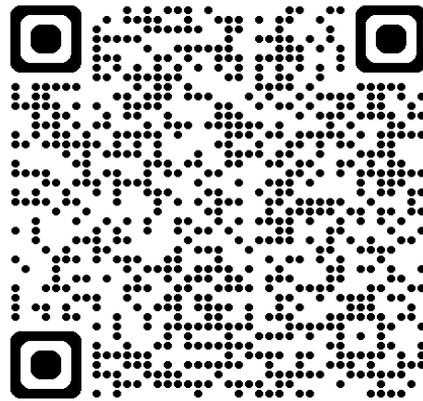
\*弁論大会・生徒研究発表に参加する生徒および引率者・保護者の皆さまも、入力・申込をお願いいたします。

## \*参加申込締切 7月9日 (火)

こちらの参加申込締切は7月9日 (火) に延長いたしました。



(承認番号 06003 号)



## 10 大会日程

### < 1 日目 > 令和6年8月1日 (木)

9:30 ~ 10:00	・受付
10:00 ~ 10:30	・開会行事 主催者挨拶 共催者挨拶 来賓挨拶 来賓紹介 諸連絡
10:45 ~ 12:00	・第44回高校生英語弁論大会 諸連絡
12:00 ~ 13:00	・昼食 / 休憩
13:00 ~ 14:00	・第24回高校生日本語弁論大会
14:20 ~ 16:10	・記念講演 「地球のステージ」桑山紀彦×「国際理解教育」石森広美 演題『平和のために私たちができることを考える』 講師 石森 広美 先生 (北海道教育大学 国際地域学科・地域教育専攻 准教授)
16:20 ~ 16:50	・講評 弁論大会審査結果発表 表彰式 記念撮影
16:55 ~ 17:55	・生徒：生徒交流会 (国際教育脱出ゲーム)
17:10 ~ 18:00	・全国事務局長会議
19:00 ~ 21:00	・教育懇談会 江陽グランドホテル 翡翠の間

< 2日目 > 令和6年8月2日(金)

8:30 ~ 9:00	・受付
9:00 ~ 10:40	・第13回国際理解・国際協力に関する生徒研究発表会
10:50 ~ 12:05	・教員：教員による研究発表 生徒：交流会／ワークショップ
12:20 ~ 13:00	・講評 生徒研究発表審査結果発表 表彰式 ・閉会行事 主催者挨拶 次期開催県挨拶 諸連絡 記念撮影

13:30 ~ 16:00 　・震災遺構 仙台市立荒浜小学校訪問（希望者）  
　　＊昼食はバス中でとります。

#### 11 研究発表校・研究発表者

生徒研究発表（発表順）

- 1 宮城県宮城野高等学校（宮城）  
「日本人がグローバル化するために」
- 2 兵庫県立神戸商業高等学校（兵庫）  
「東日本大震災に学ぶ平和と共生～グローバルな視点とローカルな視点の繋がりを探究する～」
- 3 宮崎カリタス学院都城聖ドミニコ学園高等学校（宮崎）  
「私たちのポイ活～紙芝居で繋がる地域クリーン作戦～」
- 4 八戸聖ウルスラ学院高等学校（青森）  
「在住外国人との共生に不可欠なもの～『やさしい日本語』の有用性を探る～」
- 5 愛媛県立東温高等学校  
「愛媛の海と街 私たちの挑戦 We Care, We Share, We Dare!」
- 6 翔凜高等学校（千葉）  
「女性に選択の自由を！（世界の女性人権）」

教員研究発表（発表順）

◎第3会議室

- 1 青森県立大湊高等学校 南澤 英夫 先生  
「世界を変える学びと行動～チャレンジで育つ生徒たち～」
- 2 石川県立小松高等学校 福岡 輝樹 先生  
「FURUSATO EXCURSION 2022 ～地域とつながる国際交流を目指して～」
- 3 兵庫県立神戸商業高等学校 藤井 三和子 先生  
「50年ぶりのユネスコ教育勸告改正(2023年11月)から展望する高等学校で育成する  
国際理解の資質・能力～高等学校の先導的な海外研修に着目して～」

◎第4会議室

- 1 岩手高等学校 田中 佳恵 先生  
「本校における多様なオンライン国際交流 ～その工夫と実践～」
- 2 宮城県宮城野高等学校 鈴木 幸恵 先生  
「オンラインで教室での学びを超える  
～アートマイル国際協働学習プロジェクト等を通して～」
- 3 愛媛大学附属高等学校 上床 孝樹 先生  
「グローバル人材の育成教育とテラーメード型教育過程の開発」

## 12 大会役員及び事務局

大会顧問	大泉	昌明	全国国際教育研究協議会会長 東京都立昭和高等学校長
大会会長	藤垣	庸二	東北地区高等学校国際教育研究協議会会長 宮城県高等学校国際教育研究会会長 宮城県仙台東高等学校長
大会副会長	佐藤	弘人	宮城県高等学校国際教育研究会副会長 宮城県仙台二華高等学校長
	田渕	龍二	宮城県高等学校国際教育研究会副会長 宮城県富谷高等学校長
大会運営理事	坪	宏至	東北地区高等学校国際教育研究協議会副会長 青森県国際教育研究協議会会長 青森県立八戸西高等学校長
	寒河江	和広	東北地区高等学校国際教育研究協議会副会長 岩手県国際教育研究協議会会長 岩手県立水沢高等学校長
大会運営委員	高森	満雄	青森県国際研究協議会事務局長 青森県立名久井農業高等学校教諭
	高橋	慎二	岩手県国際教育研究協議会事務局長 岩手県立水沢高等学校教諭
大会実行委員	大内	一矢	宮城県富谷高等学校主幹教諭
	北村	孝之	宮城県仙台南高等学校主幹教諭
	鈴木	理恵	仙台城南高等学校主幹教諭
	青木	翔平	宮城県仙台二華高等学校教諭
	石垣	葵	宮城県角田高等学校教諭
	泉	賢太	宮城県仙台二華高等学校講師
	齋藤	彰子	宮城県宮城野高等学校教諭
	佐藤	漸	聖和学園高等学校教諭
	田村	勝太	宮城県石巻高等学校教諭
	塗田	宣幸	宮城県富谷高等学校教諭
	八島	美央	宮城県富谷高等学校教諭
	菅	憲史	宮城県仙台二華高等学校教諭
	大会事務局長	山口	朋昭
大会事務局	曳田	雅史	宮城県仙台東高等学校教頭
	高橋	彩子	宮城県仙台東高等学校教頭
	門田	久美子	宮城県仙台東高等学校教諭
	菊地	聖子	宮城県仙台東高等学校教諭
	鈴木	拓	宮城県仙台東高等学校教諭